

活動内容報告書				
団体名			特定非営利活動法人メッシュ・サポート	
直近3か月活動報告	2026年	5月	1-31日	ヘリ活動 計18件＝現場救急 13件・離島転院搬送 5件・災害捜索 0件 飛行機活動 計 4件＝帰島搬送 2件・離島転院搬送 2件
	2026年	6月	1-30日	ヘリ活動 計25件＝現場救急9件・離島転院搬送 15件・災害捜索 1件 飛行機活動 計 3件＝帰島搬送 2件・離島転院搬送 1件
	2026年	7月	1-31日	ヘリ活動 計28件＝現場救急 5件・離島転院搬送 23件・災害捜索 0件 飛行機活動 計 0件＝エンジン交換のため運休
活動風景の写真などを添付してください				
 名護市内の脊髄損傷患者搬送のため出動 (2025年11月20日：名護市宇茂佐)  奄美大島から鹿児島本島へ 嚥下機能障害患者の準救急搬送				
コメント				
■沖縄本島北部医療用ヘリ活動 沖縄緊急時において15分以内の初期治療の可否が救命率に大きく左右します。ドクターヘリは15分以内に医師が現場に駆け付け、救命治療を行える体制構築を目標としています。沖縄県のドクターヘリは浦添市に配備されており、かつ、沖縄県本島の最北端の救命病院は名護市となります。北部救急救助ヘリの運営により、北部地域の救命活動に取り組んでいます。 ■琉球諸島医療用飛行機活動 沖縄県では1972年の日本復帰以降、陸上自衛隊および海上保安庁への災害派遣要請による離島急患搬送が開始され、2008年に沖縄県本島にドクターヘリが導入されましたが、先島・大東諸島からの長距離離島における迅速な搬送体制の構築は未だ沖縄県の命題であり、また感染症患者の搬送や、身体的に公的交通手段では帰島できないなどの離島特有の問題も介在しています。改善策として、飛行機を活用した南西諸島全域の医療支援に取り組んでいます。				